

相模原中RC 会報

第 1966 回例会

7 月 24 日 No.4

会 長 早川 正彦



幹 事 佐々木 敏尚

●友好クラブ

韓国・龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区
台湾・台中文心ロータリークラブ
国際ロータリー第 3461 地区

●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区

●提唱インターアクトクラブ

光明学園相模原高等学校



「地区会員増強セミナーの報告」(紙面上、一部要約にて)

会 長 早川 正彦

先月 6 月 4 日 (月) アイクロス湘南にて、私と佐々木幹事とで出席して参りました。当日は、消防法に触れるギリギリ満員の 180 名の出席で、このテーマにとっても感心の高さを感じました。

まず大谷年度の会員増強の数字が報告され、5 月末現在、新会員で入会した方が 245 名、退会者もいるので、実質増は 133 名となったそうです。近年まれに見る大きな数字になり、日本の 34 地区の中では純増では 2 番目です。女性会員数は、2780 地区は 10.3%を占めるまで上がり、日本の平均が 6%強なので、かなり素晴らしい数字を上げる事が出来たという報告がございました。

講演は 2 部あり、1 部では「ロータリーの魅力！クラブの魅力！」サブテーマは「会員増強・

会員維持の鍵を握る、新会員のトレーニング方法！」でした。講師は、2750 地区ガバナーエレクトの服部陽子（東京広尾 RC）さんです。

ロータリーの創設は 1905 年 2 月 23 日、弁護士のパール・ハリス、石炭商のシルベスター・シール、鋌山技師のガスター・バスロア、洋服仕立て屋のハイロン・ショウレイが会合を持ったのが始まりです。

ガスター・バスロアは健康上の理由により数年でロータリーを去り、ハイロン・ショウレイは 2 回しか例会の出席は無く、このようなことから、ロータリーの会員増強・維持は始まりの時からある問題だったのです。

ところがパール・ハリスとシルベスター・シールは沢山の仲間を作り、どんどんロータリー

を發展させ、5年後には1800名の会員。20年後の1925年には、クラブ数は何と2000になり、会員数は11万人に増えました。

どうして、このような發展を遂げたのか。一つには1業種1会員制、相互扶助、社会貢献、また最初の奉仕活動では、シカゴの町に公衆トイレを作りました。ポール・ハリスたちは「ロータリーは世界の何処にも無い、本当に素晴らしい。」という事を友人、知人に話しました。

それを聞いた人々は、あなた達がそこまで言うのなら、入ろうと次々と入会したそうです。その頃の会員増強の1番の基本は、全ての会員が素晴らしいと思っているかという事でした。現在では個性のあるクラブ、会員の年代のバランス、男性・女性会員の側面よりロータリーの活性化を考えると多様性がキーワードと考えられます。

新しい時代、変化の時と言われている中で多様化していくが、忘れてはならないのがロータリーの理念、目的、ルールを守った上でクラブが特色を出していく事が重要と考えられています。自分達と違う価値観を認め、互いに影響し合う事が大変重要となり、年齢の多様性も年配者から若者まで所属する事によりクラブが活性化し、常にフレッシュに保つ努力も更に重要な事になりました。

女性会員の占める割合は世界で21.44%、日本は6%強。世界的に見ても、大変低い数字となっていますが、2780地区は10.28%であり、日本の平均の倍ぐらいになっていることは、大変素晴らしい事だと思います。

「自分のクラブは世界の何処にも無い素晴らしいクラブであると思っていますか？」10年後、20年後も維持する必要性、足りない部分をどう変えて行くか、3年5年掛るかも知れませんが、そのプランが戦略計画になるのです。

「ロータリーって何ですか？」説明出来なければ、会員増強は出来ません。答えとしては「ロータリアンは他人を思いやれる人、思いを行動に移せる人、より良い自己を目指す人、そしてロータリークラブはそういう人達の集まりで、互いの出会いを大切に世界中の人々が皆、笑顔に成れるよう、共に学び活動しています。」ではないでしょうか。

第2部は「今日から出来る、今すぐ取り組める

会員増強活動の凡事徹底！」で、講師は次年度地区会員増強・維持委員長の松下力さんです。

テーマ1「ピラミッドを作る石工職人から学ぶ会員増強の考え方」という話を題材に、会員増強は何故、何をするのかを学びました。

この話をロータリークラブに置き換えますと、「何故、会員増強をするのですか？」という質問に対し、「私たちのクラブは会員増強をする事が、目的なのです」、「私たちのクラブは会員増強をする事で質の高い奉仕活動をする事が目的であり、会員増強はその手段です」、または「私たちのクラブは会員増強をする事で、質の高い奉仕活動を実践しクラブの伝統を作る事が目的なのです」という答えが返って参ります。

この事から「会員増強はクラブのやりたい事を実現するための手段であり、最終的にはクラブの伝統を作るための手段として会員増強があるのです」会員増強は会長が方針を定め、幹事と共に増強委員長がサポートし、進めるのがベストですが実際には会員経験の浅い者がクラブを好きになれば彼らの新しい人脈から増強が生まれ、会員維持に繋がったという例も少なくありません。

テーマ2「クラブの逆スパイラルを止める鍵は？」若者、馬鹿者、よそ者（あえて入会間もない会員をここではそう呼びます）の存在。逆スパイラルは進化の過程が止まってしまうという事で、それを食い止める鍵は、何処にあるのだろうかという事を学びました。

それはサクセスシンдрーム（成功の罠）という言葉があり、組織が衰退する時は安定に猛進し、内部主義や前例主義を重視する。これは「例会はこう有るべきだ」とか、押し付けになってしまう（前例主義）。「外を見ず、内部ばかりを見てしまう」（内部主義）という事が進行し、変化を嫌い、チャレンジをしない、同じ行動からクラブが活力を失う。この事から若い会員がやる気を失ったり、活気を失い、会員維持も難しいクラブになってしまいます。実際には若い会員の発言、行動に蓋をするのではなく新たな戦力として育てる事が、この事に繋がると考えております。

「若者、馬鹿者、よそ者を受け入れられるクラブは会員増強にも非常に大きな戦力となります。」

テーマ 3「今日から出来る、今すぐ取り組める
会員増強活動の凡事徹底！」。まずは入会者リス
トの作成から始めましょう。できれば会員数と同
じ人数以上をリストアップしましょう。これが会
員増強の第1歩で、リストを全会員で共有する事
で、色々なアクションが生まれ、前進して行ける
と考えております。

＜グローバル補助金奨学生ご紹介＞

カウンセラー

飯住悦子

山本さんは現在、東京
大学大学院に在籍され、
今年度、米国コロンビア
大学に留学されます。

グローバル補助金奨学
生は6つの重点分野のい
ずれかに合ったキャリア
を目指し、研究もこれに
沿ったものとなります。縁あって当クラブの推薦
となり、ニューヨークのハーレム RC が受入クラ
ブとなります。出発は8月15日になるそうです。



ご挨拶と専攻分野「開発経済学の力」

グローバル補助金奨学生

山本 一真



○自己紹介

出身：東京都世田谷区

生年月日：1993年4月5日

所属：東京大学公共政策大学院 修士課程2年

経歴：US-ASEAN Business Council、NPO 法
人難民支援協会、UNICEF 東京事務所等にて
インターン

専門：開発経済学（特にインパクト評価などの
実証ミクロ開発経済学）

受入れ RC：第7230地区 米国 HarLem RC

○留学大学：コロンビア大学国際公共政策大学院



場所：ニューヨーク州ニューヨークシティマンハ
ッタン。国連のお膝元

カリキュラム：国際関係論・政治学・経済学・法
学・社会学・心理学などを幅広く学ぶことが可
能。専門職大学院であり、実務や応用を重視。

学生：1290人在籍（2016年11月時点）、54.5%
が米国外から留学。100か国以上。

卒業生：ジョゼ・ラモス（東ティモール前大統領、
ノーベル平和賞受賞）マデレーン・オルブライト
（前米国国務長官）中曽根康隆、バラク・オ
バマ、小泉進次郎など

教員：ジョゼフ・スティグリッツ（ノーベル経済
学賞受賞）、ジェフリーサックス（国連事務総長
特別顧問）

○開発経済学とは

- ・ 貧困・格差の原因や特質を明らかにし、その撲滅・削減を可能にする開発のあり方を探求する経済学の一分野。

→「皆を幸せにするための学問」

- ・ 政策課題に対して、複数の解決策が存在。結局、どの解決策がよいのか？

→様々なプロジェクトの費用対効果を試算。開発経済学は政策の費用対効果に対するエビデンス（根拠）を提供。

- ・ 善意からの援助であっても、必ずしも意図した結果に繋がるとは限らない。

- ・ 開発経済学は、「何が」「どれだけ」有効なのかを明らかにして、以て援助の効率改善に資する。



スマイルBOX

●中村 辰雄君（相模原南RC）

- ①早川年度、初めてメイクに参りました。今年度盛会でありますことお祈り致しております。
- ②私事です、今年度「ロータリーの友」地区代表委員を仰せつかりました。貴クラブからの情報お待ち致しております。

●中村 昌治君（相模原グリーンRC）

お久しぶりです。中RC例会にお邪魔すると、落ち着きます。

●早川会長、佐々木幹事

- ①本日メイクにお越し頂きました中村辰雄様、中村昌治様、ようこそいらっしゃいました。
- ②グローバル補助金奨学生の山本さん、ようこそ。頑張ってきて下さい！
- ③本日、入会記念日祝の皆様おめでとうございます。

●田後 隆二会員

- ①入会記念日祝をいただき、ありがとうございます。
- ②山本さん、お気をつけて行ってらっしゃい。

●豊岡 淳会員

入会記念を祝って頂き、ありがとうございます。早いもので10年です。まだまだですね。

●大井 達会員

- ①山本様、ようこそいらっしゃいました。ご健闘をお祈りします。
- ②入会記念日お祝の皆様、おめでとうございます。私も頂戴致しました。ありがとうございます。

●大塚 正浩会員

- ①入会記念日のお祝、ありがとうございます。
- ②初のSAAで全く余裕がありません。今後とも宜しくお願い致します。

●諸隈 武会員

- ①山本さん、ようこそ！
- ②入会記念日祝、ありがとうございます。

●阿部 毅会員

- ①グローバル補助金奨学生の山本さん、ようこそ。頑張ってください。
- ②増強セミナー報告の会長、藤原委員長、本日の報告ご苦労様です。
- ③入会記念日祝の皆様、おめでとうございます。

●伊倉 正光会員

- ①早川会長、藤原委員長、会員増強セミナー報告よろしくお願い致します。

- ②入会記念日祝をして頂き、ありがとうございます。

●畠住 悦子会員

- ①7月入会記念日祝の皆様、おめでとうございます。
- ②グローバル補助金奨学生の山本さん、ようこそ。
- ③会長、藤原委員長、セミナー報告よろしくお願い致します。

●金沢 邦光会員

週末に富士山に登ってきました。50才代、最後の記念です。足がボロボロ～。

●藤原 利夫会員

- ①グローバル補助金奨学生の山本様、ようこそいらっしゃいました。これからも頑張ってください。
- ②早川会長、セミナー報告宜しくお願いします。

●小野 孝会員

- ①入会記念日祝を受けられる方々、おめでとうございます。
- ②会員増強セミナー報告、宜しくお願いします。

●黛 裕治会員

- ①7月入会記念日お祝の皆様、大変おめでとうございます。
- ②奨学生の山本一真さん、気をつけて行ってらっしゃい！
- ③早川会長、藤原増強委員長、セミナー報告宜しくお願いします。

●瀬戸 裕昭会員

- ①本日、入会記念日祝を受けられる会員の皆様、おめでとうございます。
- ②奨学生の山本さん、出発前の忙しい時にご苦労様です。気をつけて行って来てください。

●横溝 志華会員

- ①本日、お祝の皆様、おめでとうございます。
- ②会長、藤原委員長、会員増強セミナー報告、宜しくお願い致します。

本日のスマイル額 28,000円

今年度の累計額 108,000円

会長の時間

本日 7 月 24 日は「劇画の日」だそうです。これは、劇画ブームの先駆けとなった漫画雑誌「ガロ」が 1964(昭和 39)年 7 月 24 日に創刊されたことを受けて、記念日に制定されました。“白土三平”の『カムイ伝』を始め、「ゲゲゲの鬼太郎」の「水木しげる」、「ねじ式」などシュールな作品で知られる“つげ義春”、そして有名作家を輩出したガロの初代編集長の長井勝一（かついち）といった作家達が登場し、“大人劇画漫画”として名を馳せたそうです。

先週、日本文化となった漫画は立派な輸出品にもなりましたというお話をしましたが、何で日本の漫画が発展したのか掘り下げてみたいと思います。第 1 の理由として俳句文化があったことで、文字数が少なくとも、繊細に感情豊かに伝える言葉の芸術があったからこそ、絵や言葉で気持ちや思いを込めて伝える事が得意なのでしょう。

第 2 の理由として、識字率の高さも大きな要因で、庶民でも江戸時代には文字を読む事に慣れていました。オノマトベ（擬声語）という言葉をご存じでしょうか？これが第 3 の理由になります。

例えば、雨で「ざあざあ」「しとしと」「ぽつぽつ」という強さが表現されるのです。最後に、日本語にはあえて曖昧な言い回しが出来ることで想像力を掻き立たせ、この曖昧さがあるからこそ伝わる物があり、この様な要因で漫画の発展が日本で起こりやすかったと考えられています。

「会長幹事会報告」

先日 7 月 10 日「第 5 回の会長幹事会」があり、脇ガバナー、杉岡ガバナーエレクト、佐藤地区研修副委員長の出席で、にぎやかに開催されました。

地区報告ですが、9 月 10 日（月）に「地区大会親睦ゴルフコンペ」があります。会員皆様の奮ってご参加宜しくお願い致します。

また今年度地区大会ですが、10 月 14 日（日）に本会議が「茅ヶ崎市民文化会館」にて開催され、受付 11:30～、点鐘 12:30～、大懇親会終了が 18:30 という長丁場になり、今からスケジュールの調整をして、沢山のご参加をお願い致します。

今回から「クラブのおなやみ相談」が始まり、

トップバッターとして、相模原ニューシティー RC より「出席率向上の方法は？」というテーマで質疑・応答が行われ、まず HP で例会の動画を流し、感想を送れば出席になりますが、5 月以降の利用は 0 件となり、全く改善が無いので良い方法はないかという事です。他クラブでも Web 出席をしているのは 0 件ではないが、難しいとの意見で、親会員が率先して、新会員を誘いメイクすることと常に目標を意識する事が大切という意見でした。

次に相模原橋本 RC より「委員会活動の活性化の方法は？」というテーマで質疑・応答があり、年度計画書を早めに立てたが、効果が出ていないという投げ掛けで、西 RC から開催ごとに 2,000 円を出し、なるべく委員会が活性するよう努めていて、今年度は委員の負担をなるべく減らし、出席が増えるよう努力しているとの意見もありました。

最後に相模原柴胡 RC より「違う地区の方の入会は？」というテーマで質疑・応答があり、例えば横浜に誘いたい人がいた場合、相模原のクラブに誘って良いのかという投げ掛けに、個々の RC で決めれば基本的には良い。但し、それが増強に繋がる可能性は低いのが現実という意見でした。

最後に会員増強とマイロータリーの登録は毎回のように議題にあがりますので、ご協力よろしくお願い致します。（紙面上、一部要約にて掲載）

<地区ロータリーの友代表委員より>

相模原南 RC

中村 辰雄委員

私は今年度、地区のロータリーの友代表委員となりました。毎月ロータリーの友へ投稿する義務があり、全クラブにお願いにまわる訳にもいけないので、ガバナー補佐会議や、

会長幹事会にお邪魔し、投稿依頼をしております。

中 RC では、「空飛ぶシューズ」などユニークな事業や、友好クラブとして台湾地区とも交流されているので、ぜひ掲載して頂ければと思います。今年度一年間、情報提供を宜しくお願い致します。

（概要にて掲載）



報告事項

1. 第2780地区ガバナー事務所より

①西日本豪雨による被害地への義援金協力依頼

特に被害の多い地域、2710 地区（広島・山口）、
2690 地区（岡山・鳥取・島根）、2670 地区（四
国 4 県）で支援を必要とする地区に対し、義援
金を送りますので、ご協力をお願い致します。
目安として 1 人 1,000 円 送金締切 8 月 10 日

②米山奨学セミナー&カウンセラー研修会ご案内

今年度米山奨学委員長と、奨学生カウンセラー
の方にご出席をお願い致します。セミナーの後、
カウンセラーのための研修会も開催致します。
日時：8 月 25 日（土）セミナー14:00～15:35
カウンセラー研修会 15:45～17:00

場所：アイクロス湘南 返信締切：8 月 17 日

③地区大会ゴルフコンペ登録のご案内

送付が遅れてしまい申し訳ございません。至急、
各クラブで参加者を募って頂きますようお願い
申し上げます。（詳細は回覧にて）

日時：9 月 10 日（月）受付 6:30～

場所：レイクウッドゴルフクラブ（大磯町）

登録料 5,000 円（事前振込） 費用 16,000 円

登録締切：8 月 3 日

2. 相模原西 RC より「東林間サマーわぁ！ニバル」ロータリーブース出店のご案内

（詳細は回覧にて）

3. 相模原橋本 RC より「橋本七夕まつり」エ ندポリオキャンペーンについて

3 日間まつりに参加し、キャンペーンを行います。
神明大神宮入口近くにロータリーテントを
設営しておりますので、ぜひお立ち寄り下さい。
ビジター受付は 8 月 3～5 日七夕祭り会場にて。

<7月お祝・入会記念日祝>



- ・伊倉 正光会員 1992 年 7 月 8 日
- ・豊岡 淳会員 2008 年 7 月 1 日
- ・田後 隆二会員 2011 年 7 月 5 日
- ・大坪 征弘会員 2015 年 7 月 7 日
- ・大井 達会員 2015 年 7 月 7 日
- ・高本 昌敏会員 2016 年 7 月 5 日
- ・諸隈 武会員 2016 年 7 月 5 日
- ・大塚 正浩会員 2016 年 7 月 5 日



例会記録

点 鐘 12 時 30 分

場 所 相模原市民会館「あじさいの間」

司 会 大塚 正浩 副 SAA

斉 唱 「それでこそロータリー」

ソングリーダー 小崎 直利会員

ゲスト 山本 一真氏（グローバル補助金奨学生）

ビジター 中村 辰雄君（相模原南 RC）

中村 昌治君（相グリーン RC）

出席報告

会 員	出席(出席対象 30 名)	事前メイク者
37 名	25 名	4 名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(7/10)
5 名	85.29%	93.55%

●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央 3-12-3
相模原商工会館 3 F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

●例会場 相模原市民会館「あじさいの間」
〒252-0239 相模原市中央区中央 3-13-15

TEL 042-752-4710 FAX 042-753-2000

●E-mail: rotary@tbgt-com.ne.jp

●編集 親睦活動委員会

委員長：伊倉 正光 副委員長：小崎 直利

委員：川合 貞義、田所 毅、櫻内 康裕
田後 隆二、中山 徹男、高本 昌敏
横江 利夫、山之内 洋、河野 崇、
中村 勝彦

●http://sagamihara-naka.sakura.ne.jp